

「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会

第1回公共交通優先のライフスタイル検討部会



～市民の皆様と共に
「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進するために～



平成20年8月28日 京 都 市

「歩くまち・京都」が目指す理念 ～ 京都市民の誇り～



京都市民の誇り

市民の皆様一人一人が守り続けてきた京都の魅力

環境

- 三方を山に囲まれた山紫水明の自然
- 京都議定書誕生の地
- 世界一美しいまちの実現を目指した、まちの美化活動～「門掃き」「打ち水」の伝統



航空写真



先斗町通

景観・文化

- 古くから歌にも詠まれた優れた眺望景観
- 京町家の保全・再生
- 14箇所の世界遺産など、1200年の歴史に育まれた世界に誇る伝統と文化を有する



出典: 京町家.net

14箇所の世界遺産



金閣寺



高山寺



上賀茂神社



龍安寺



銀閣寺



下鴨神社



天龍寺



清水寺



西芳寺(苔寺)



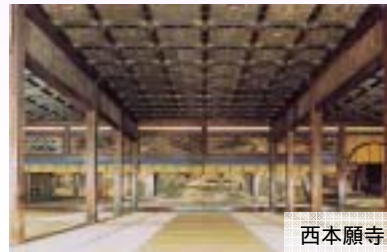
仁和寺



二条城



東寺



西本願寺



醍醐寺

写真出典:京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

京都市民の誇り

観光・経済

- 入洛観光客数4、900万人突破
- 観光客を温かくもてなす心
- 伝統産業や先端産業に象徴されるものづくり都市



祇園祭



五山送り火



西陣織

子育て・教育・コミュニティ

- 町衆文化に育まれた歴史ある地域コミュニティが息づく大都市
- 日本初の学区制小学校以来の学校を中心とした高度な自治組織
- 新しいものに挑戦してきた進取の精神

琵琶湖疎水
水力発電

公共交通

- 日本で初めての路面電車を民間の力で実現(明治28年)



新京極通



明治初期の旧柳池小学校



明治時代の路面電車(復元)

交通と市民生活の関係

いつまでも住みつづけたい京都、何度でも訪れたい京都でありたいから・・・



健康



楽しく歩き、自転車に乗ることによる健康増進
徒歩・自転車利用率が全国政令市トップ



環境



“Do you Kyoto?”を世界に発信
他都市より**厳しい環境保全基準**を制定



子育て・教育



人が行き交い、子どもと大人が触れあい、**「あいさつ」**が育てる京都の教育文化



景観・文化



趣のあるまちなみ・景観を50年後、100年後も守り育てる
「新景観政策」



コミュニティ



1、200年の歴史ある町衆文化を活かし、**人がにぎわう地域コミュニティ**を創出



観光・経済



世界中の人に、**また来たくなる「京都」**を発信する魅力ある歴史観光都市を実現

交通

「ひと」が主役



「ひと」を交通の中心に考え、「歩くまち・京都」を世界に発信

京都の「交通まちづくり」は何を目指すか

- クルマ依存型 (かつてのアメリカ型まちづくり)
 - 自動車の利用を前提とした都市形成
 - 郊外の大型ショッピングセンター
 - マイカーが生活の必需品
- ひとと公共交通優先型 (ヨーロッパ型まちづくり)
 - マイカー抑制と公共交通優先により、多くの人がまちに集まり、賑わいを生み出す持続可能な都市として発展

世界の流れは「クルマ依存型社会」からの脱却



アメリカ・ポートランド



フランス・グルノーブル



ドイツ・ミュンヘン

アメリカも
含めて

検討部会における検討内容



平成19年10月実施 四条通における
「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験の様子

「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会

「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会

設置目的：「人が主役の魅力あるまちづくり」を強力に推進するため、公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指した「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定

審議会委員は、健康、環境、公共交通、子育て・教育、コミュニティ、景観、観光、経済などの観点から、幅広い分野の方々と構成

委員の構成(24人)

学識経験者(5人)	: 交通まちづくり、環境、福祉など
経済界、有識者等(10人)	: 京都商工会議所、有識者(教育、文化、医療、情報、マスコミなど)
交通事業者(4人)	: JR西日本、阪急電鉄、京阪電気鉄道、京都市交通局
国土交通省(2人)	: 近畿地方整備局建政部長、近畿運輸局企画観光部長
京都府(2人)	: 京都府総務部長、京都府警本部交通部長
京都市(1人)	: 副市長

京都の持つ文化力・人間力を結集、融合することにより、「京都力」を最大限に生かした議論を行います

公共交通ネットワーク 検討部会

- 利用者の視点に立った公共交通のネットワーク化の検討など

未来の公共交通まちづくり 検討部会

- 環境に優しく利便性の高い未来の交通システムの検討など

公共交通優先のライフスタイル 検討部会

- 大胆なマイカー抑制を市民ぐるみで進めるためのライフスタイルのあり方の検討など

各検討部会での検討内容

公共交通ネットワーク

- 新たな公共交通ネットワークの構築(地下鉄等を軸とするバス交通網の再編やネットワークによる新たな料金体系など)
- 乗り継ぎ利便化方策(割引運賃導入、バリアフリー化推進、ICカード乗車の促進など)
- 交通不便地域のあり方(山間部等の生活交通確保方策など)

未来の公共交通 まちづくり

- 未来の公共交通のあり方の検討(エコ&インテリジェント高機能バスシステムやLRT、新たなバス専用レーン設定など)
- 地域別の未来の交通体系のあり方(都心部、交通不便地域)
- ロードプライシングの導入

公共交通優先の ライフスタイル

- 公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを目指したライフスタイルのあり方を検討(エコ通勤、エコショッピング、自転車利用促進など)
- 歩行者優先憲章
- モビリティ・マネジメントの施策の推進

審議会全体のスケジュール

平成20年7月11日 第1回審議会の開催

平成20年～21年夏 審議

(審議会は2箇月に1回開催予定)

検討部会は1箇月、又は2箇月に1回開催予定)

モビリティ・マネジメントの施策として市民意識調査の実施

平成21年3月頃 中間とりまとめ

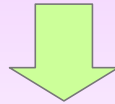
パブリックコメントの実施

平成21年夏 最終とりまとめ・答申

検討部会での使命と役割

検討部会の使命

- 京都の誇りや魅力を守り育て、後世に残していくため、**人が主役**の魅力あるまちづくりを構想すると共に、地域主権時代の全国のモデルとなる、**歩いて楽しいまちの実現**を目指す



- 上記理念を実現するために必要な、**市民ぐるみで実施する**大胆なマイカー抑制案や公共交通利用運動などについて**具体的な施策**を提案する。
- 検討部会の検討内容、結果について、市民、観光客に伝えるとともに**意識変革を促す**。

第1回審議会で出された意見等



第1回審議会での主な意見

(公共交通優先のライフスタイル検討部会の検討内容にかかるものを抜粋)

- ライフスタイルや価値観まで、変化を訴えることができるのは、京都だけ。
- 市民の行動を促すようなインセンティブを高める活動も考えていかなければならない。
- 市民の声を十分に聞きながら進めていけば良い結果が出るはず。
- 市民ぐるみの取組とすることが重要。
- 交通と観光だけでなく、地域の経済産業活性化も重要。
- 京都には、世界遺産もたくさんあり、歩くところが楽しいとすることができる。
- 10年後とかでなく、できることからやっていかなければならない。
- コンパクトな土地利用の視点が必要。
- 自転車は市民の足であり、健康にも良く、コミュニティの面でも良い。

市民委員公募に際し寄せられた主な意見

< ライフスタイルの転換 >

- マイカーに頼る暮らしは限界。安全に歩ける空間づくりが重要。
- 惰性でマイカーを使っている人が多い。クルマを使わずに楽しく暮らせる。
- ボランティアで京都の名所を案内している。歩いてはじめてわかる京都の魅力がたくさんある。
- 四条のトランジットモール社会実験に、子供連れでまちに出たが、ゆったり歩け、ベンチなどもあり、歩きやすかった。クルマが少ないと涼しく感じた。
- 商店街の活性化が重要で、それがライフスタイルの改善に繋がる。京都には、世界遺産もたくさんあり、歩くところが楽しいとすることができる。
- マイカー利用から徒歩や公共交通主体のライフスタイルの転換は並大抵ではない。人々の自発性を促すため、「かっこいい」、「楽しい」、「お得」の心理に働きかけることが大切。

市民委員公募に際し寄せられた主な意見

< 情報提供 >

- 京都は観光都市であり、交通の情報提供が非常に重要。
- 市民にも観光客に対しても公共交通の情報提供が不十分。
- 乗りやすい、分かりやすい案内が必要(ポケット版案内図を配布など)。
- 観光案内板や史跡標など関連性を持たせるべき。マスコミ等でのアピールも重要。
- パークアンドライドが、市民や観光客に対してまだ浸透されていないのでは。
- 市民が乗りたくなる仕組み作りが必要。商業者の視点で考えると、利用者に喜んでもらえるようなサービス、楽しいことを打ち出していくことが必要。

検討部会の今後の進め方

平成20年7月11日 第1回審議会の開催

平成20年8月28日 第1回公共交通優先のライフスタイル検討部会

以後、平成21年2月までに、以下の内容を部会としてとりまとめ

- 公共交通優先の歩いて楽しいまちづくりを目指したライフスタイルの検討
(エコ通勤、エコショッピング、自転車利用促進など)
- 歩行者優先憲章の検討
- モビリティ・マネジメントの施策の検討

平成21年3月頃 審議会において中間とりまとめ

パブリックコメントの実施

平成21年夏 最終とりまとめ・答申

検討部会での検討内容は、審議会(2ヶ月に1回程度開催)において報告